



山岸 敬広さん

1978年12月、野々市市生まれ。芝浦工業大学建築学科卒、金沢工業大学修士課程建築学専攻修了。香山壽夫建築研究所(東京)を経て、2008年に山岸建築設計事務所入社、2013年同社長就任。一級建築士。趣味は長唄三味線。45歳。

社員の声

企画設計主任 武田 行由さん

当社は年齢や経験にとらわれず、自由にアイデアを言い合える雰囲気の中で設計を行うことができます。それぞれの個性を生かした建築を実現するために一緒に考え、悩み、さまざまなことにチャレンジする過程が自分を大きく成長させてくれます。

クの再構築など、スマートワーク導入にも意を注ぎました。「社員のやる気を伸ばすには、やる気を受けとめる組織作りが不可欠。だからこそ、多様な背景を持つ一人一人と目をそらさずに向き合い、常に彼らの声に耳を傾け、ルール化した方がいいと思えば即座に対応する

ようにしています」(山岸社長) 社屋を全面リニューアル 昨年10月には築60年の社屋を「YAE Lab」としてリニューアル。1階は会社の理念や歴史を紹介するギャラリーとラウンジ、2階は開放的なワークスペース、3階はカフェ風の社

員交流スペース、4階にはライブラリーと個人デスクが配置され、自由闊達なコミュニケーション空間に生まれ変わりました。山岸社長は「やりがいを持てる職場を作り続けることが、世の中のニーズに応えられる質の高い建築の創造につながると確信しています」と力を込めます。



山岸建築設計事務所

山岸建築設計事務所(金沢市)が昨年、過去最高の売り上げを記録し、今年はそれを上回る勢いを見せています。働きやすく、やりがいのある会社を目指し、社員目線で社内改革を推し進めていることが社員のモチベーションを高め、質の高い建築の提供と業績の向上につながっています。

社員応援 カンパニー

20

やる気を受け止める組織作り

1951年創業の山岸建築設計事務所は、石川に根を張る古参の設計事務所の一つです。建築(意匠)、構造、設備といった各専門分野の技術者が結集し、大型公共施設から個人住宅まで、さまざまな建築物の設計をトータルで手がけています。そんな同社が2024年3月期決算で創業以来最高の売上高4.9億円を達成し、今期は能登半島地震の復旧案件も重なったこともあり、前期の1.4倍の売り上げを見込んでいます。躍進の理由について、3代目の山岸敬広社長(45)は「入社以来取り組んできた社内改革が実を結んできました」と語ります。

山岸社長が入社したのは、リーマンショックの影響で会社が危機に瀕していた頃でした。「会社を立て直すため、できることは全部やりました」と振り返るように、30年以上そのままだった就業規則の見直しから始め、人事評価制度や採用などの改革を推進。テレワーク勤務規程策定や社内ネットワー



新社屋

4F
ライブラリ

3F
ワークショップ

2F
オープンラボ

1F
ギャラリー

4F 集中スペース

3F カフェ空間

1F ラウンジ

株式会社 山岸建築設計事務所

●設立/1951(昭和26)年3月 ●事業内容/建築(設備)設計・監理
●従業員数/53人(山岸設備設計事務所含む)

金沢市中村町31-47 TEL.076-241-7234